

■久留米シティプラザの整備

久留米シティプラザ施設運営課 樽川 健司

1. はじめに

久留米シティプラザは、平成28年4月27日に、久留米市中心市街地の六ツ門地区に開館した文化交流施設です。老朽化した久留米市民会館に替わる文化施設としての機能、医療や企業の発展・交流を促進するためのコンベンション施設としての機能、そして、中心市街地活性化の役割を担う中核的施設としての機能を併せ持った施設として、「憩いと賑わいが調和する『文化』『活力』創造空間」という基本理念に基づき整備しました。

2. 検討の経緯

久留米市は、平成22年6月に策定した市政運営方針「中期ビジョン」の中で、老朽化した市民会館の取扱いと、コンベンション機能を併せ持った広域交流促進の中核施設としての文化施設建設の方向性について、平成22年度中に決定すると表明しました。

そこで平成22年10月に、21名の委員からなる「久留米市総合都市プラザ検討委員会」を設置し、有識者や文化芸術、経済、市民活動、女性団体、大学、病院の各分野の関係者など、多様な立場の方々にご検討いただきました。そして、検討委員会から報告書の提出を受け、市として様々な角度から総合的に検討した結果、平成23年2月14日に、「市民会館に替わる新しい施設として、ホール機能とコンベンション機能を併せ持った広域文化交流促進の中核施設を市の中心市街地の六ツ門地区に整備すると発表しました。

その後の主な経過は以下の通りです。

- ・平成23年5月 市議会で「(仮称)久留米市総合都市プラザ調査特別委員会」設置

- ・平成23年11月 基本計画策定
- ・平成24年12月 基本設計完了
- ・平成25年7月 実施設計完了
- ・平成25年10月 工事着手
- ・平成27年11月 9番街区竣工
- ・平成28年1月 8番街区竣工
- ・平成28年4月 開館(27日)



図1 久留米シティプラザの周辺地図



写真1 久留米シティプラザの外観

- ・平成23年5月 市議会で「(仮称)久留米市総合都市プラザ調査特別委員会」設置

3. 施設の概要

(1)施設の詳細

久留米シティプラザは、久留米井筒屋跡地である六ツ門町8番街区と、六角堂広場跡地である9番街区の2つの街区にまたがり、延べ床面積が35,500㎡に及び非常に存在感のある建物です。外壁はレンガを基調とした久留米市の新しいランドマークに相応しい風格のある外観デザインとし、両街区を曲線状でガラス張りの上空通路で繋ぐ構造になっています。

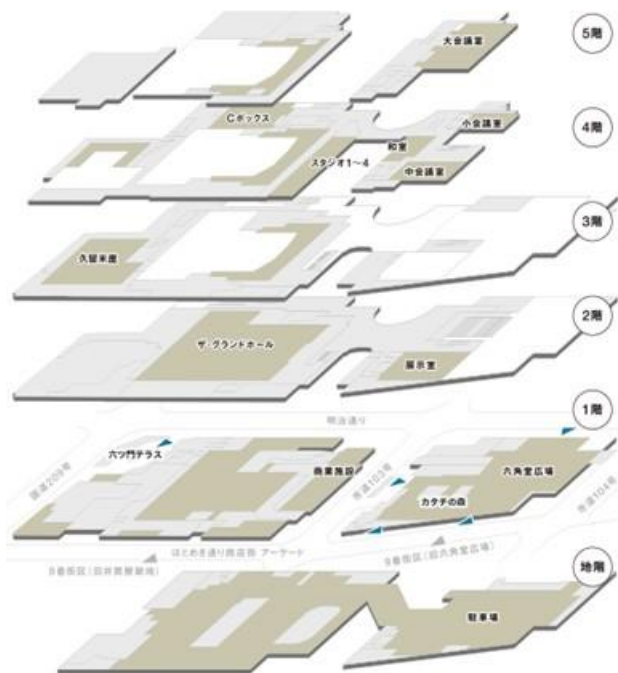


図2 フロアマップ

(2)8番街区

8街区には、メインホールとなる「ザ・グランドホール」、演劇を主目的として花道や仮設能舞台も設置可能なサブホール「久留米座」、リハーサルや小劇場となる「Cボックス」など大中小3つのホールとスタジオのほか、1階にはレストランやショールーム等商業施設があります。

① ザ・グランドホール

「ザ・グランドホール」は、優れた音響性能を持つ音楽を主目的とした多機能ホールで、客席を4階層にし、ホー

ル全体の空間を大きく取ることで豊かな響きを生み出します。オーケストラピットや仮設花道など、充実した舞台設備を備えており、クラシックコンサートだけでなくオペラやミュージカル、歌舞伎などを上演できます。また、舞台との距離は約30mの近さで、演者との一体感が感じられます。総席数は1,514席で、座り心地に配慮した客席のサイズ(幅54cm)でゆったりと座ることができます。



写真2 ザ・グランドホール

②久留米座

久留米座は、照明、音響など充実した舞台設備を持つ中規模ホールで、演劇、舞踊、コンサートなどに適しています。脇見所を持つ能舞台を設置することで、本格的な能楽を上演することができます。総席数は399席で、1階席の両脇にはご家族や団体でもゆったりと観賞することができる柵席があります。



写真3 久留米座

③Cボックス

Cボックスは、床の高さを調節することで様々な空間を作り出すことができるマルチスペースで、舞台や客席は可変式となっており、遮光して小さな劇場として公演を行うことも、明治通り側の街並を見ながら開放的に使うこともできます。演劇、ダンス、音楽の公演、展覧会やリハーサルなど使い方のバリエーションが豊富な施設です。



写真4 Cボックス

④スタジオ

音楽の練習に適したスタジオ1・4と、演劇やダンスの練習に適した広めのスタジオ2・3の合計4室あり、防音性、遮音性の高いつくりになっています。スタジオ2・3は、床が衝撃を吸収する仕組みになっており、安全・快適に利用することができます。

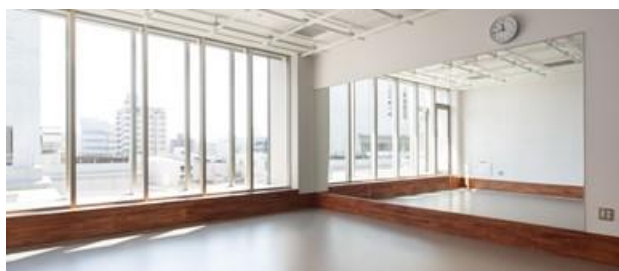


写真5 スタジオ

(3)9番街区

9番街区には、屋根付で昇降式のステージを備えた全天候型の「六角堂広場」を整備し、展示会や見本市に対応した会議室や展示室、日本庭園を備えた「和室 長盛」のほか、子育て世帯を中心に立寄ることができる交流施設「カタチの森」を配置しています。

① 六角堂広場

久留米で長年愛されてきた六角堂広場が、膜屋根をかけた全天候型の広場として生まれ変わりました。商店街から直接出入りでき、施設とまちなかに一体感を生み出します。様々なイベントの会場としても、憩いの場としても利用できます。



写真6 六角堂広場

② 会議室

大・中・小の会議室はそれぞれ最大3つに分割でき、目的に合わせて広さを選ぶことができます。普段のサークル活動や大規模な会議など様々な用途で利用できます。また、大会議室の南側には約200㎡の屋上テラスがあります。



写真7 会議室

③ 和室「長盛」

京間8畳3室の全てに炭も使える炉を備え、炭手前の稽古から正式の茶会を行うことができます。水屋やキッチンを備え、襖を取り外して畳敷きの外廊下まで使うことで、30畳の大広間として、大茶会や華道、書道など、様々な催しに利用できます。飛び石、枝折戸、蹲（つくばい）が置かれる庭園もあります。



写真8 和室「長盛」

④ 展示室

展示室では、美術や書道などの展覧会や各種展示会、見本市などが開催できます。また、広さと高さを生かした展示が可能です。さらに、天井には照明や看板などを吊ることができるバトンがあり、様々な演出に対応できます。また、3分割しての利用が可能です。レセプションに必要な機能も完備しています。



写真9 展示室

⑤ カタチの森

カタチの森は、アートユニット tupera tupera が内装をプロデュースしたおしゃれで楽しい空間です。カフェ、授乳室、多目的トイレを設置し、子どもからお年寄りまで集い、くつろぐことができるスペースです。



写真10 カタチの森

4. 施設の利用状況

久留米シティプラザは、上質な文化芸術の鑑賞の場、市民の皆さんの自主的な活動の場として、開館以来、多彩な催しが開催されています。また、会議室、スタジオ、展示室、和室は、さまざまなセミナーや会合などで利用され、また利用したいとリピートされる方も増えています。学会やコンベンションなどでは、全館を利用することで、分科会や講演の会場を交通の便の良い中心市街地にまとめることができます。

久留米シティプラザは、4月27日から10月31日までの約6ヶ月間で、30万を越す多くの方々、特に学生や子育て世代など若い方に来てもらっており、周辺商店街の賑わいの創出にもなっています。

5. おわりに

久留米シティプラザは施設の建設自体が目的ではなく、久留米市が将来にわたって県南の中核都市として持続的に発展するために必要な施策を戦略的に推進していく拠点です。久留米シティプラザの整備の効果を最大限に発揮させるよう市民のみなさんや周辺商店街、関係者のみなさんと知恵を出し合い、久留米市の活力を象徴するようなランドマークとなるよう取り組んでまいります。

(2016年12月入稿)

第4回 日本都市計画学会九州支部幹事会議事録

日時：平成28年10月15日（土） 15:00～16:30

場所：九州大学箱崎キャンパス

工学部建築学科建築1番教室

出席者：坂井猛，橋本信幸，吉武哲信，三島伸雄，有馬隆文，猪八重拓郎，内田智昭，大井尚司，黒瀬武史，清水肇，堤昌文，日暮光一郎，日高圭一郎，箕浦永子 以上14名

議事内容

1. 前回幹事会議事録の確認（三島）

- ・事前メール審議にもとづき，平成28年7月2日（土）開催分の平成28年度第3回幹事会の議事録を確認した。

2. 熊本地震災害調査特別委員会（黒瀬）

- ・支部から支援した仮設住宅調査（益城町・熊本大学円山先生）の結果について，中間報告があった。なお，結果は益城町のホームページにも掲載されている。
- ・各部会より活動報告があった。
- ・熊本地震災害調査特別委員会に関する経費残額の使途について，第5回幹事会にて再度諮ることとした。
- ・最終報告書は，印刷製本および支部ホームページにpdfデータにて公開することを目標とする。
- ・各部会から第5回幹事会までに目次案・分担者案を提出することとした。また，原稿締切は2017年8月末を目安として今後作業を進めることとした。

3. 平成28年度学術研究論文発表会におけるワークショップ（吉武）

- ・平成28年度学術研究論文発表会において，11月12日に九州支部主催のワークショップを開催することについて報告があった。
- ・熊本大学の柿本先生と田中先生が中心となって登壇者を検討しており，「東日本大震災，新潟県中越地震の経験のなかでの熊本」ということで計画している。

- ・調査のあり方など現地での活動のあり方についても話題にしたいと考えている。

4. 平成28年度支部主催シンポジウム（箕浦）

- ・日程について，行政の方に登壇や参加を依頼するのであれば平日が望ましいため，2月17日（金）を第一候補とする。
- ・開催場所は，熊本地震に関する熊本以外の人々の意識を持続するために，福岡での開催とする。
- ・テーマは，研究論文発表会でのワークショップが「東日本大震災，新潟県中越地震の経験のなかでの熊本」ということもあり，九州で開催するシンポジウムでは熊本地震を中心とした話題とする。

5. 平成28年度支部長賞（箕浦）

- ・平成28年度支部長賞の推薦依頼について案内があった。
- ・推薦依頼先は昨年度と変更が無いことを確認したうえで，大分大学経済学部を追加することとした。

6. 平成29年度九州支部事業計画・予算計画（案）（内田）

- ・例年同様の事業計画案が提示され，内容が協議された。
- ・例年と異なるのは，平成28年度新規研究分科会募集を停止し，熊本地震災害調査に関する活動を想定して「支部講演会，セミナー等」の予算として見込む点である。
- ・1月10日が提出期限のため，第5回幹事会でも詳細を提示する。

7. 支部トピックス（No. 322：9月掲載分）（代理：箕浦）

- ・資料にもとづき，支部トピックス9月掲載分について報告があった。

8. 支部ニュース（No. 80：10月発行分）（日高）

- ・支部ニュースNo. 80について報告があり，承認された。

9. 名義後援（箕浦）

- ・事前メール審議にもとづき，あまみず社会研究会から「あまみずコーディネータ養成講座」の後援依頼について承認された。

10. 会計報告（内田）

- ・資料にもとづき，9月末までの会計報告があっ

た.

- ・2月の支部主催シンポジウムの予算は35万円弱であることを確認した.
- ・熊本地震災害調査特別委員会のための追加予算は、別立ての会計となる.

11. 理事会報告 (9月30日分) (坂井)

- ・9月理事会について報告があった.

12. その他

幹事会の日程変更について (箕浦)

- ・第5回幹事会の日程は、12月28日(水) 15:00-16:30に変更することが了承された.
- ・第6回幹事会の日程は、予定通り2月17日(金) 11:00-12:30に開催することとなった.

PS 賞状の再発行について (内田)

- ・再発行について承認された.

■支部ニュースに関する問合せ・連絡先

支部ニュースに関するお問い合わせやご意見等がございましたら下記までご連絡ください。各種イベント(シンポジウムや講演会等)のお知らせ等を掲載することも可能です。案内文を下記までお寄せください。

【公益社団法人日本都市計画学会九州支部事務局】

TEL: 092-642-3346 FAX: 092-642-3349

E-mail: cpjij-q@arch.kyushu-u.ac.jp